

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2009-529629(P2009-529629A)

【公表日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2008-558527(P2008-558527)

【国際特許分類】

F 1 6 L 57/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 57/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのアクセス部位及び取付部材を備えるハウジングと、
対応する取付部材で前記ハウジングに固定される本体部材と、
近位端及び遠位端を有する剛性アームであって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体部材に結合される剛性アームと、
前記剛性アームに加重する可撓性部材と、
前記剛性アームの前記遠位端に固定され、前記アクセス部位を覆うカバー部材であって、前記剛性アームの変位によって前記アクセス部位から協働状態で変位可能なカバー部材と、を備える、
流体コネクタ。

【請求項 2】

前記本体部材が、前記取付部材の周囲で旋回可能である、
請求項 1 に記載の流体コネクタ。

【請求項 3】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 1 に記載の流体コネクタ。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの流体アクセス部位及び取付部材を備えるハウジングと、
対応する取付部材で前記ハウジングに固定される本体部材と、
近位端及び遠位端を有する剛性アームであって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体部材に結合される剛性アームと、
前記近位端と前記遠位端の間で前記剛性アームに加重するエラストマー部材と、
前記剛性アームの前記遠位端と一体で、前記アクセス部位を覆うカバー部材であって、前記剛性アームの変位によって前記アクセス部位から変位可能なカバー部材と、を備える、
流体コネクタ。

【請求項 5】

前記エラストマー材料が、前記本体部材の少なくとも一部又は前記本体部材及び前記剛性アームと一体である、

請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 6】

前記本体部材が、前記取付部材の周囲で旋回可能である、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 7】

前記エラストマー材料が、前記剛性アームに加重する、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 8】

前記カバー部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 9】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 10】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 11】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 4 に記載の流体コネクタ。

【請求項 12】

流体コネクタのアクセス部位を無菌状態で覆う方法であって、
ハウジング及び少なくとも 1 つのアクセス部位と、剛性部材と、前記剛性部材に協働状態で接続され、前記アクセス部位とカバー関係にあるカバー部材であって、前記アクセス部位の近傍に無菌処理に効果的な材料を含むカバー部材と、を備える流体コネクタを提供する工程を含む、
方法。

【請求項 13】

前記無菌処理に効果的な材料が、抗菌剤である、
請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記カバー部材が前記アクセス部位とのカバー関係で受動的に保持されるように、前記カバー部材が荷重を受ける、
請求項 12 に記載の方法。

【請求項 15】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、
請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、
請求項 12 に記載の方法。

【請求項 17】

アクセス部位を有するハウジングと、
近位端及び遠位端を有する剛性アームと、
前記剛性アームの前記近位端と前記遠位端の間に前記剛性アームを前記ハウジングに結合する可撓性部材と、
前記剛性アームの前記遠位端と一体で、前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材であって、前記剛性アームが変位すると、アクセス部位を覆う初期位置から前記アクセス部位のカバーを取る第 2 の位置へと変位可能であるカバー部材と、を備える、
流体コネクタ。

【請求項 18】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、

請求項 17 に記載の流体コネクタ。

【請求項 19】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、

請求項 17 に記載の流体コネクタ。

【請求項 20】

前記可撓性部材が、前記剛性アームに荷重を提供する、

請求項 17 に記載の流体コネクタ。

【請求項 21】

前記荷重が、前記カバー部材を前記第 2 の位置から前記初期位置へと変位させる、

請求項 20 に記載の流体コネクタ。

【請求項 22】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、

請求項 17 に記載の流体コネクタ。

【請求項 23】

アクセス部位を有する流体コネクタに固定可能な本体部材と、

近位端及び遠位端を有する剛性アームと、

前記剛性アームの前記近位端と前記遠位端の間で前記剛性アームを前記本体部材に結合する可撓性部材と、

前記剛性アームの前記遠位端と一体で、前記コネクタの前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材であって、前記剛性アームの前記近位端が変位すると、前記アクセス部位を覆う初期位置から前記アクセス部位のカバーを取る第 2 の位置へと変位可能であるカバー部材と、を備える、

カバーアダプタ。

【請求項 24】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、

請求項 23 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 25】

アクセス部位を有する流体コネクタを少なくとも部分的に囲むことができる本体部材と、

、

近位端及び遠位端を有する剛性アームと、

前記近位端と前記遠位端の間で前記剛性アームを前記本体部分に結合し、前記剛性アームに荷重を提供する可撓性部材と、

前記剛性アームの前記遠位端と一体で、前記コネクタの前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材であって、前記剛性アームが変位すると、前記アクセス部位を覆う初期位置から前記アクセス部位のカバーを取る第 2 の位置へと協働状態で変位可能であるカバー部材と、を備える、

カバーアダプタ。

【請求項 26】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、

請求項 25 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 27】

少なくとも 1 つの流体アクセス部位及び取付部材を有するハウジングと、

対応する取付部材で前記ハウジングに固定される本体部材と、

近位端及び遠位端を有する剛性アームであって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体部材に結合された剛性アームと、

前記本体部材に固定され、前記ハウジングを少なくとも部分的に囲む可撓性部材であって、前記剛性アームに荷重を提供する可撓性部材と、

前記剛性アームの前記遠位端に固定され、前記アクセス部位を覆うカバー部材と、を備える、

流体コネクタ。

【請求項 28】

前記可撓性部材が、前記剛性アームに荷重を提供する、
請求項 27 に記載の流体コネクタ。

【請求項 29】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 27 に記載の流体コネクタ。

【請求項 30】

流体コネクタに固定可能な取付部材を有する本体部材と、
近位端及び遠位端を有する剛性アームであって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体に結合された剛性アームと、
前記本体部材に固定され、前記流体コネクタを少なくとも部分的に囲む可撓性部材であって、前記剛性アームに荷重を提供することができる可撓性部材と、
前記剛性アームの前記遠位端に固定され、前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材と、を備える、
カバーアダプタ。

【請求項 31】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 30 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 32】

少なくとも 1 つのアクセス部位及び対応する取付部材を有する流体コネクタハウジングに固定可能な取付部材を備える本体部材と、
近位端及び遠位端を有する剛性アームであって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体部材に結合される剛性アームと、
前記剛性アームに加重するエラストマー部材と、
前記剛性アームの前記遠位端に固定され、前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材と、を備える、
カバーアダプタ。

【請求項 33】

前記エラストマー材料が、前記本体部材の少なくとも一部又は前記本体部材及び前記剛性アームと一体である、
請求項 32 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 34】

前記カバー部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 32 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 35】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、
請求項 32 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 36】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、
請求項 32 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 37】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 32 に記載のカバーアダプタ。

【請求項 38】

流体コネクタのハウジングであって、
アクセス部位と、
前記ハウジング上に配置された取付部材と、
前記ハウジング上に配置された少なくとも 1 つのハウジング保持部材と、を備え、
前記取付部材と前記少なくとも 1 つのハウジング保持部材とが、協働でカバーアダプタを受け、前記カバーアダプタが、

前記ハウジングに固定可能な対応する取付部材を有する本体部材と、

前記本体部材に結合され、前記少なくとも1つのハウジング保持部材によって固定可能な可撓性部材と、

近位端及び遠位端を有する剛性部材であって、前記近位端と前記遠位端の間で前記本体部材に結合された剛性部材と、

前記剛性アームの前記遠位端に固定され、前記アクセス部位を覆うように配置されたカバー部材と、を備える、
ハウジング。

【請求項 39】

前記可撓性部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 38 に記載のハウジング。

【請求項 40】

前記カバー部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 38 に記載のハウジング。

【請求項 41】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、
請求項 38 に記載のハウジング。

【請求項 42】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、
請求項 38 に記載のハウジング。

【請求項 43】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 38 に記載のハウジング。

【請求項 44】

流体コネクタのアクセス部位の汚染を防止するか又は無くす方法であって、
ハウジング及び少なくとも1つのアクセス部位と、剛性部材と、前記剛性部材に協働状態で接続されたカバー部材と、を備える流体コネクタを提供する工程と、

前記アクセス部位と前記カバー部材の間にカバー関係を提供する工程と、を含む、
方法。

【請求項 45】

前記カバー部材が前記アクセス部位とのカバー関係で受動的に保持されるように、前記カバー部材が荷重を受ける、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 46】

前記カバー部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 47】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な材料を備える、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 48】

前記アクセス部位が、メスコネクタである、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 49】

前記アクセス部位が、貫通可能な隔壁である、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 50】

前記カバー部材が、エラストマー材料を備える、
請求項 44 に記載の方法。

【請求項 51】

前記剛性部材が、エラストマー材料を備える、

請求項 4 4 に記載の方法。

【請求項 5 2】

アクセス部位を備えるハウジングと、
前記アクセス部位と初期カバー関係で受動的に配置されたカバー部材と、を備え、
前記カバーが、荷重を受けるカバーなしの関係から初期カバー関係へと実質的に可逆性である、
流体コネクタ。

【請求項 5 3】

前記カバー部材が、無菌処理に効果的な作用物を含む、
請求項 5 2 に記載の流体コネクタ。

【請求項 5 4】

少なくとも 1 つのアクセス部位を備えるハウジングと、
近位端及び遠位端を有する可撓性アームであって、前記遠位端が前記ハウジングに固定される可撓性アームと、
前記可撓性アームの前記遠位端に固定されるカバー部材であって、前記可撓性アームの前記遠位端の周囲で回転可能であり、抗菌剤を含むカバー部材と、を備え、
前記可撓性アームは、前記カバー部材が前記アクセス部位を覆うことができるほど十分な長さである、
流体コネクタ。

【請求項 5 5】

少なくとも 1 つのアクセス部位を備えるハウジングと、
近位端及び遠位端を有する可撓性アームであって、前記近位端が前記ハウジングに接続し、自身の前記近位端が前記ハウジングの周囲で回転可能である可撓性アームと、
前記可撓性アームの前記遠位端に固定されるカバー部材であって、抗菌剤を含むカバー部材と、を備え、
前記可撓性アームは、前記カバー部材が前記アクセス部位を覆うことができるほど十分な長さである、
流体コネクタ。